

環境融和型リサイクル施設と 四季公園の提案



……子供から老人まで楽しめる四季公園……

特定非営利活動法人

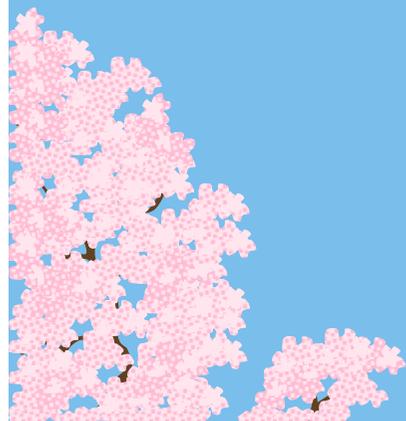
最終処分場技術システム研究協会 (NPO・LSCS研)

発表者

同

副理事長 小谷克己

理事 堀井安雄





テーマ選定の目的・理由

1. 社会インフラの有効活用

「もったいない精神」の推進

- ❖ 掘削空間と水処理施設を有効に利用して、循環資源リサイクル施設へ改編する。
- ❖ バイオ燃料化施設を設置して、熱利用を図る。

2. 町おこしをして、収入源を確保

- ❖ 四季を通して集客できる四季公園等の創生
- ❖ 環境教育の場として、環境修復の歴史をモニュメントとして、次世代に伝える。



提案内容

1. 循環資源リサイクルの推進

- ・バイオ燃料化施設 廃棄物の資源化
- ・資源リサイクル施設 被覆型:安定化促進
- ・水処理施設 既設水処理を利用

2. 自然エネルギーの活用

- ・風力発電
- ・太陽光発電

3. 自然環境の復元

- ・四季公園
- ・森林公園
- ・管理棟(熱利用)

4. 環境学習の場

- ・環境資料館(不法投棄廃棄物の保存)

環境調和型リサイクル施設と四季公園



自然共生

●私の農地



にんにく

循環型社会

家庭ごみ
食品残渣
有機系廃棄物

●四季の花公園

ヤマツツジ



池（雨水等の再利用）



●森林公園



ナナカマド

●四季公園

熱・堆肥

低炭素

風力発電

太陽光発電

●循環資源リサイクル施設

●バイオ燃料化施設

●環境資料館

●管理棟

●保養施設（養護老人ホーム、温泉）



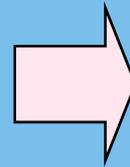
1. 循環資源リサイクル施設

- ❖ 掘削した空間資源の利用
- ❖ 循環資源リサイクル施設を建設
 - ・バイオ燃料化施設(加水分解処理技術)
 - 近隣市町村の生活系廃棄物の資源化
 - 近隣農村・森林の有機性廃棄物の資源化
 - (生成物低位発熱:バイオ燃料5000Kcal/kg以上)
 - ・循環資源リサイクル施設(保管容量:15万m³)
 - 被覆型、安定促進型(水洗浄型)
 - ・水処理施設(既設 150m³/日の利用)
 - 生物学的脱窒＋凝集膜分離＋光化学分解

投入物と生成物



投入物



生成物

- 減容化 原料の1/6程度
- 燃料化 5,000kcal/kg程度の熱量
- 無菌化 菌体の細胞膜破壊
- 未反応物: 金属、陶磁器、ゴム類



2. 自然エネルギーの活用

太陽光・風力発電

- ・公園横には、風力発電機を設置する。
- ・循環資源リサイクル施設の屋根には、太陽光発電 パネルを設置する。
- ・発生した電力は、敷地内の施設へ電源供給
→炭酸ガスの削減、地球温暖化防止に寄与
- ・出資企業を決め、募金する。
- ・余剰電力は売電、収益を運転資金に還元。

3. 自然環境の復元

・四季公園・森林公園・緑地公園

1. 四季公園

- 春(桜、菜の花、チューリップ)夏(ひまわり、夾竹桃、桔梗)
- 秋(薔薇、コスモス)冬(シクラメン、パンジー)の花
園造成

2. 森林公園・緑地公園

私の木公園(記念植樹の森)

- 木に個人の名前を付け、植樹(看板も設置)
成長記録やCO₂の消化量を調査・公表。
樹木の管理方法を教える。



実施団体

実施主体

青森県田子環境ビジネス公社

協力自治体

青森県、 周辺市町村

協力団体

NPO・LSCS研(最終処分場技術システム研究協会)

協力企業

NPO・LSCS研の会員企業、地元協賛企業



NPO・LSCS研の構成会員



学界の権威者をリーダーとして以下のような企業及び個人が参画しています(3.21現在)。

団体会員(52)

コンサルタント 18社

プラントメーカー 4社

ゼネラルコントラクター 18社

資材メーカー 12社

個人会員(45名)の主要な資格

工学博士、技術士(衛生工学、地質、建設等)

一級施工管理技士、測量士等

想定する雇用、資金集め(概略)



雇用:互いに協力して省力化を図り、
経費削減に努める。

各施設管理3~5名 ($7 \times 4 = 28$ 名)

アルバイト2~4名 ($7 \times 3 = 21$ 名)

募金:地球環境協力者・企業として
発表する。

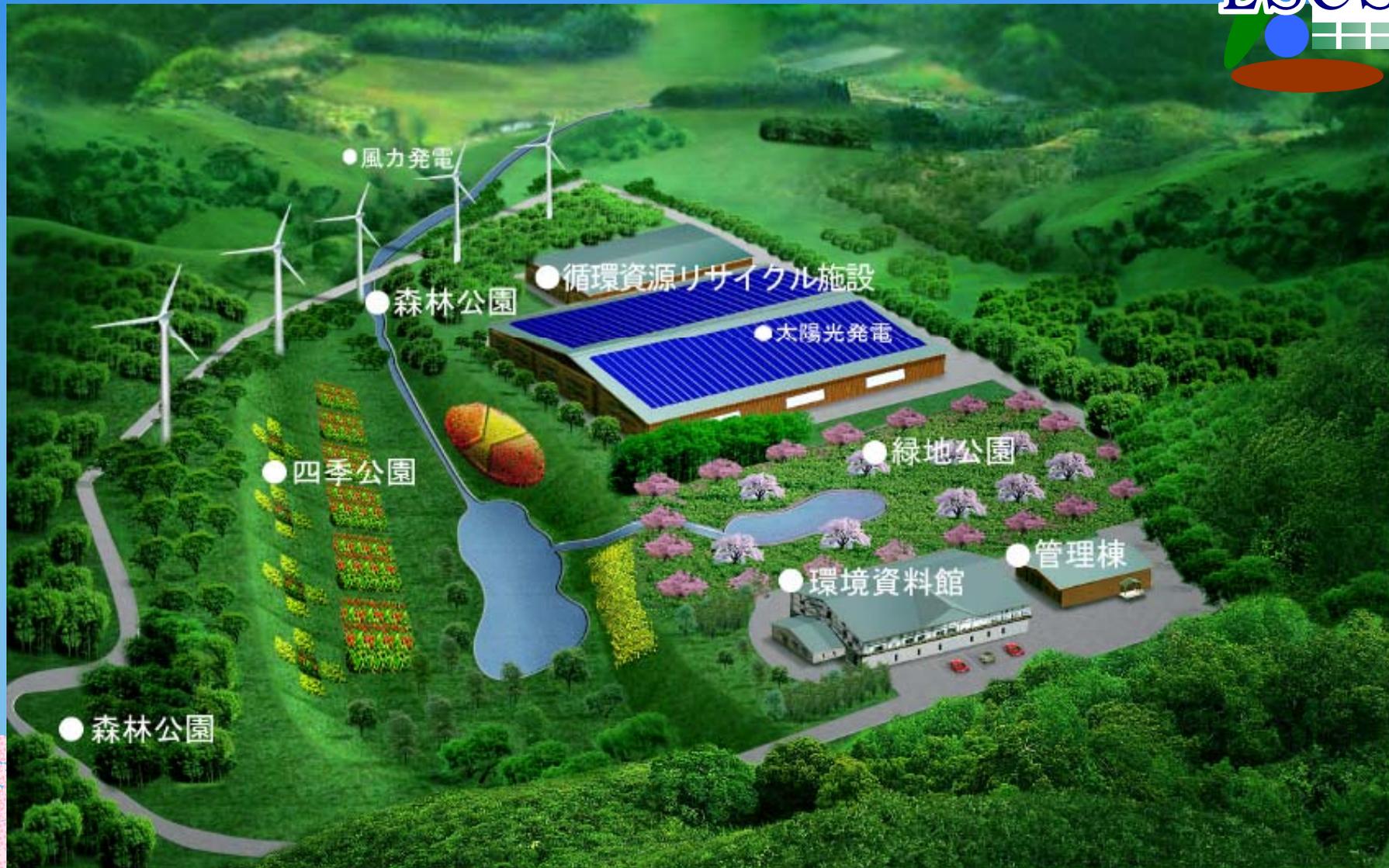
植樹1本1万円 ($3本 \times 1万人 = 3億円$)

(廃棄物で造った肥料を販売)

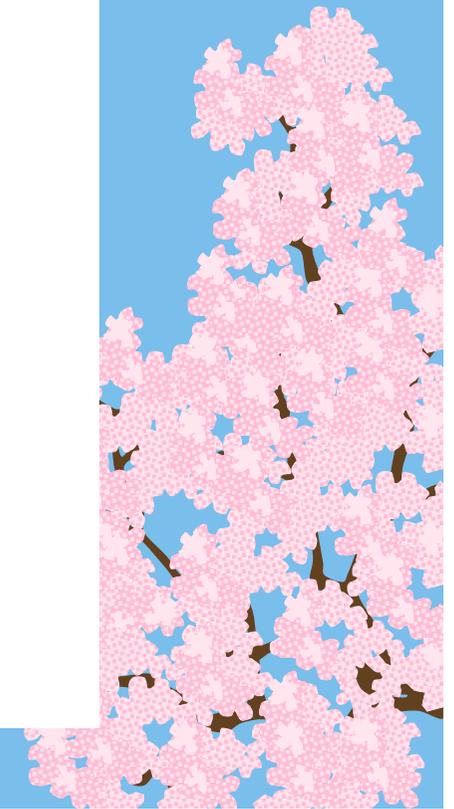
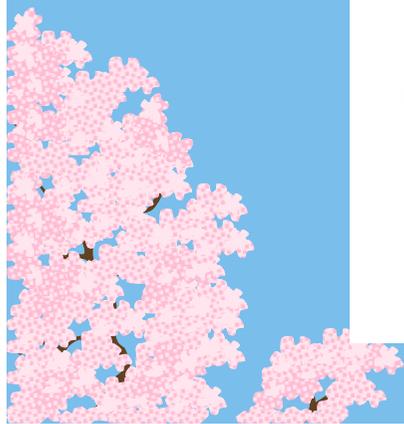
風力発電補助 ($200万円 \times 200社 = 4億円$)

太陽光発電 ($100万円 \times 200社 = 2億円$)

(売電も考慮)



施設配置平面図





期待される効果

1. 町おこし(集客)ができる。
2. 安定的な収入源が確保できる。
3. LSCS研の協力で安価な建設が可能。
4. 省資源・省エネルギーが実現できる。
5. 環境教育、環境対策が体験ができる。
6. 全国の環境再生モデル地区となり
視察者が増加する。

The logo features the letters 'LSCS' in a bold, blue, sans-serif font with a white outline. The 'L' is partially obscured by a large green leaf-like shape. The 'S' is partially obscured by a blue oval. The 'C' is partially obscured by a white rectangular shape with a green grid pattern. The 'S' is partially obscured by a white curved shape. The entire logo is set against a blue background with a brown oval shadow below it.

LSCS

ご清聴ありがとうございました